

Hokkaido **action!**
北海道エコ・アクション

今できること、「考える」から「行動する」へ!

もっと
北海道
2011



2時間目

<p>手入れされている人工林</p> <p>豊かな森・豊かな恵み</p> <p>森は人間の手で手入れされ、間伐(間引き)されることで日の光が地面に届き、より豊かな恵みをもたらします。</p>	<p>手入れされていない人工林</p> <p>荒れた森・地域の環境破壊</p> <p>森は人間の手で手入れされ、間伐(間引き)されることで日の光が地面に届き、より豊かな恵みをもたらします。</p>
--	---

「モリノハナシ」

暮らしに息づく森の木々たち



菅井さんもみんなと一緒に参加しました!

日本の国土の約7割を占める森。私たち人間に大いなる恵みをもたらしてくれているだけでなく、さまざまないきものすみかでもあり、川や海につながる大切な存在でもあります。「国際森林年」の今年、この掛け替えのない森や環境のこと、そして生物多様性について学ぶ「子ども環境セミナー」が、北海道新聞社で行われました。

北海道エコ・アクション特別講座

子ども環境セミナー

1時間目



「いきものたちのすみか」

生物多様性を考える

1 時間目は、円山動物園の朝倉卓也さんを講師に迎え、森にすむいきものについて学びました。スクリーンに映し出されたのは、オランウータン、ニワタアザラシ、ホッキョクグマ、アムールトラ、チパンジーなど、どれも円山動物園に暮らす動物たち。この中で森にすんでいる動物は?。朝倉さんが出すクイズに、進行役のお天気キャスター・菅井貴子さんと一緒に子どもたちが元気よく答えます。実は円山動物園に暮らす50種類の動物のうち、約40種類が森にすんでいるのだとか。森は生き物たちにとって、掛け替えのないすみかなんです。

続いては、エゾシカ、エゾフクロウ、エゾヒグマなど、北海道の森にすむ動物たちを当てるクイズ。身近な動物が多いだけに、みんな積極的に手を挙げて答えたり、質問したりしていました。最後は、食物連鎖や生態系といった人と森と動物の関係についてのお話。全ての命はつながっている、私たちが人間もその中の一部に過ぎません。このつながりがどこかで壊れてしまえば、自然全体の大変な森や地球環境を守るために、わたしたち一人一人ができることは何でしょうか。子どもたちにも、思ったことを用紙に書いてもらいました。「自然を大切にしたい」



オランウータンは森にすむ動物?○か?×か? (答えは記事の下に)

「環境や地球のことを考えた」「いきもの全てが楽しく暮らせるようにする」。答えはさまざまですが、「まずは知っている、触れて、考えることが大事。そうして出た思いや言葉が行動につながります」と朝倉さん。今度動物園に行くときは、そんなことを考えてみるのもいいですね。

講師: 朝倉卓也さん
(札幌市円山動物園 経営管理課 経営係)
1992年から札幌市円山動物園に勤務。2004年から2010年10月まで7年間にわたり二ホンザル担当。現在、経営管理課経営係。

2 時間目の授業は、初めに三井物産の齊藤江美さんと齋藤昌史さんから、森の恵みや働き、そして「三井物産の森」について学びました。

森には、木材を生産し、山崩れなどの自然災害を防ぎ、空気をきれいにすると、多くの役割があります。また、山に蓄えられた雨水は、森にたまってきれいな水が流れて川や海に流れて豊かな生命を育みます。

日本は国土の3分の2が森。世界ではフィリピンに続いて、第2位の森林率を誇ります。そのような豊かな環境にもかかわらず、木材供給量は減り、木材自給率は低く、木材人工林では成長し続ける木を人間が間引き(間伐)して使わなければ、

▲ 輪切りにした木に触れるコーナーも。「いろんな木があるんだね」「木の年輪も見えるよ」

講師: 小倉 誠二郎さん(左)
齋藤 昌史さん(中)
齊藤 江美さん(右)
三井物産株式会社 環境・社会貢献部 社有林・環境基金室勤務
齋藤江美さん
齋藤昌史さん(森林インストラクター)
三井物産フォレスト株式会社 沼田山林事務所長
小倉さん(樹木医・森林インストラクター)



親子で行こう! 『森のフィールドセミナー』参加者追加募集!

開催日: 9/10(土)
北海道新聞では、この紙面で紹介した環境や森のことを実際に森で体験する「森のフィールドセミナー」を開催します。自然の中で森の大切さを学び、林業を体験してみませんか?

■場 所/三井物産の森 似洞山林(湧別郡むかわ町・厚真町) ■募集要項/参加希望の方は、ハガキに親子のお名前(2人)、住所、電話番号、お子様の学年(年齢も記入)、性別、参加の動機を明記の上、北海道エコ・アクション「森のフィールドセミナー」事務局[道新広告局内](〒060-8711 札幌市中央区大通西3-6)までご応募ください。締め切り8月25日(木)必着。
■対象/小学5-6年生 (※今回は追加の募集です) (若干名の募集となります)
■募集人数/親子ペア20組40人
※詳しくは北海道エコ・アクションホームページをご覧ください。
※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選者は8月14日に参加証をお送りします。
■お問い合わせ/北海道エコ・アクション事務局 TEL.011-210-6021(9:30~17:30、土・日・祝除く)
※いただいた個人情報は、本事業のみに使用させていただきます。

参加費 無料!

今年100年を迎える三井物産の森「似洞山林」

四季の変化に富み、様々な動物たちの成育場所にもなっている北海道でも代表的な三井物産の社有林です。



(正解は○)

詳細はホームページへ <http://eco.hokkaido-np.co.jp> 北海道エコ・アクション 検索 企画制作/北海道新聞社広告局

社有林

しゃゆうりん

企業が所有・管理する森のこと。三井物産はもう100年以上にわたって、広大な森を守り続けています。現在では全国73か所、約44,000ヘクタールもあります。でも総合商社がどうして森を? それは、地球環境を守るためであり、森が持つ社会的な価値を活かすためです。森は、多くの生命を支え、育む、エコロジーの宝庫。その大切な機能を、あなたはいつぞや存じでしょうか?



温暖化防止に貢献します
三井物産の森は、地球温暖化の主な原因といわれている二酸化炭素を年間で約16万トン吸収・固定するといわれています。

地球の浄水器です

森の土はスポンジのように雨水を蓄えて、洪水や濁水を防ぎます。そして雨水をゆっくりとろ過して水をきれいにしてくれます。



災害を防ぐ大黒柱です

山崩れなどの災害を防ぐのも森の大切な仕事。地中で深く広がった根は、土や岩をしっかりとつかえこみ、崩壊を防いでくれます。



エコロジーの学校です

植林や林業体験、森林機能学習講座、自然観察プログラム、三井物産の森は、環境教育や地域活性化にも役立っています。



動物たちのわが家です

さまざまな植物はもちろん、天然記念物や絶滅のおそれのある動物も、三井物産の森で数多く確認されています。



三井物産の森

くわしくは 三井物産の森 検索

三井物産 www.mitsui.com